



「きらりと光るまちの人」
SMILE UP!

Vol.19 **多原 美加** さん
 TAHARA MIKA

パン菓子販売と和カフェで親子支援の場を提供

昭和50年(1975年)に父・辰美さんが創業した『ほりうち商店』を引き継ぎ、令和3年(2021年)10月にセメント町からJR小野田駅前にパン菓子販売と和カフェコーナーを併設した『ぼん菓子ファクトリー ぼんの時間(日の出)』をオープン。カフェの構想は20年前からあり、家業を継いだことをきっかけにパン菓子の魅力を伝える場所と親子支援や地域貢献できる場所を作りたいと考えていた。人が集まり、利用しやすい公共交通が近い場所をずっと探していたところ、今の場所に店舗募集を見つけてすぐに行動に移した。多原さんは4人の子どもの母親で、自身が障がいのある子どもを育てた経験を生かし、店内はベビーカーや車イスのままで入店できるバリアフリーになっている。また、障がいなどで図書館に行けない子どもや来店した子どもたちに楽しんでもらおうと、集めた児童書など約700冊を無料で貸し出している。ほかにも月1回2時間程度、発達障がいや子育てに悩む親子のためのおしゃべり会“ころこ会”で悩みごと、嬉しかったことなどを共有する場を設けており、個別で電話相談にのるときもあるそう。気軽にお父さんやお母さんが子育ての悩みや相談を話せる場所にするのが夢。「この会社を通じて、親子支援の基盤をしっかりと作っていくことが目標です。次の時代を担う子どもたちとその子どもたちを育てる親のどちらも支える“親子セットの支援”を行っていきたい」。今の社会はまだまだ子育てがしづらく、行政や地域の垣根を越えた協力が必要と多原さん。友人から、「このお店は美加さんの夢を形にした場所だねと言われました」と笑顔を見せた。多原さんの夢はスタートしたばかり。

Profile・山陽小野田市出身。ほりうち株式会社代表取締役社長。県産・国内産にこだわった素材のパン菓子が人気。山陽小野田市名産品、ふるさと納税返礼品、市のPRイベント等(サンクスデー、地域魅力発信隊)にも参加。スマイルプランナーNo.118(個人)。子育て・傾聴ボランティアの活動を行っている。



▲店舗は小野田駅バス停前



▲様々な種類のパン菓子

【Facebook ころこ会】▶



えがおがいちばん!!

★対象：小学校就学前までのお子さん

- ①お子さんの写真(プリントしたものまたはデジタルデータ)②お子さんの名前(ふりがな)③生年月日④年齢⑤性別⑥親の名前⑦郵便番号⑧住所⑨電話番号⑩15文字程度のコメントを記入した申込書を添えて提出(郵送、E-mailでも可)



〒756-8601 山陽小野田市役所
 シティセールス課広報係 (☎82-1148)



とよの ふたば 豊野 芙花ちゃん(3歳) いとは 絃花ちゃん(3か月)
 いつまでも仲よし姉妹でいてね♡



こんどう ひかるこ 近藤 光瑠子ちゃん(5歳)
 プール遊びが大好きです

